

2018 年度日本数式処理学会基礎理論分科会 & システム分科会
合同研究会

開催日 2018 年 9 月 8 日 (土) ~ 9 日 (日)

場所 東京理科大学神楽坂キャンパス 2 号館 224 教室

<http://www.sut.ac.jp/info/campus/kagurazaka.html>

9/8(土)	
12:30-	開場
12:55-	開会の挨拶
13:00-13:45	与えられた冪級数が満たす常微分方程式の推定 村上 弘 (首都大学東京)
14:00-14:45	べき級数演算を利用した 1 変数多項式の高速近似 GCD 計算 讃岐 勝 (筑波大学)
15:00-15:30	中国剰余定理を用いた sparse interpolation 近藤 和希、関川 浩 (東京理科大学)
15:40-16:25	終結式の高速計算プログラムの現状と課題 木村 欣司 (サレジオ高専)
16:40-17:25	sign definite condition 専用 QE の公式の簡単化 岩根 秀直 ((株) 富士通研究所)
9/9(日)	
9:00-9:45	ボーダー基底とスタンダード基底の関係性について 鍋島 克輔 (徳島大学)
10:00-10:45	数値計算を用いたイデアルの効果的な局所化操作 石原 侑樹 (立教大学)
11:00-11:45	数式処理ソフトによる Kahan-廣田-木村型離散 three wave system の解析 高江 宥光 (京都大学), 木村 欣司 (サレジオ高専), 中村 佳正 (京都大学)
12:00-12:30	TBA 近藤 祐史 (香川高等専門学校)